

大山町長 竹 口 大 紀 様

大山町監査委員 石 黒 澄 男



大山町監査委員 西 山 富 三 郎



平成 30 年度大山町水道事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された平成 30 年度大山町水道事業会計決算書及び関係書類を審査したので、下記のとおり意見を付します。

記

1. 審査の概要

令和元年 7 月 8 日に下記の決算書及び関係諸帳簿を審査し、予算の執行状況が、議決の趣旨に則し効率的かつ合理的に行われているか等について検討を加えつつ慎重に審査した。

その結果、決算計数は諸帳簿と合致しており、いずれも正確であることを認めた。

2. 審査した書類

- (1) 平成 30 年度大山町水道事業会計決算書
- (2) 平成 30 年度大山町水道事業会計決算附属書類

3. 収益的収入支出及び利益の状況

(%は前年度比・消費税抜き)

区分	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		3 カ年の 平均収支
	千円	%	千円	%	千円	%	
収入	276,518	99.0	291,208	105.3	289,204	99.3	285,643
支出	271,095	106.9	267,149	98.5	267,371	100.1	268,538
利益	5,423	21.2	24,059	443.6	21,833	90.7	17,105

4. 業務内容

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	対前年度比
年度末給水人口 (人)	14,684	14,531	△153
年度末給水栓数 (栓)	5,873	5,895	22
年間総配水量 (m ³)	1,859,474	1,825,337	△34,137
日平均配水量 (m ³)	5,094	5,001	△93
年間有収水量 (m ³)	1,484,947	1,451,480	△33,467
日平均有収水量 (m ³)	4,068	3,977	△91
有収率 (%)	79.9	79.5	△0.4

5. 結び

消費税を除いた本年度の収益的収支における総収益は、289,203,721 円、総費用は、267,371,079 円で、当年度の利益は 21,832,642 円となっている。

水道使用料未収金は 17,887,149 円で、前年度に比べ 335,814 円の減額となっている。引き続き、徴収対策に努力されたい。

平成 29 年 4 月から料金体系の統一がなされたことについては、長期間に渡り調整をおこなわれての、苦勞の末のものと認識している。負担の公平性の観点からしても評価すべきものとする。

水道使用料について、金融機関口座からの自動引落設定における誤りにより、過去に渡って使用者でない者から使用料を徴収していたことが判明したとの報告があった。同様の事例が無いか調査するとともに対策を講じ再発防止をおこなっているとのことである。

長期的視点をもつての施設の修繕・更新に係る計画について、平成 29 年度決算審査時と同様、「経営戦略の策定中」と聴取したところである。策定に努められ、安定供給をより確固たるものとするよう努められたい。